

外国人無料健康相談会

岩倉市国際交流協会では、外国人医療センターの協力を得て、外国人無料健康相談会を来年（2007年）の2月から3月に岩倉で開催する予定で準備をしています。（青木 崇佳）



特定非営利活動法人

外国人医療センターとは

現在外国人労働者が増加し、長期滞在化傾向となっています。オーバーステイなどの在留資格が影響するのみでなく、国民保険制度未加入、労働災害問題や不当雇用、不当解雇、給料未払い問題などがあり、外国人労働者は、言葉の問題のみでなく、生活困難な立場に追い込まれている人が多く存在します。

なかでも、医療は、命に直接関わる問題となるため、「愛知県が国籍に関係なく良い医療サービスを受けることができる地域になること」を目標に、外国人に対し、医療支援を行うため、当外国人医療センターが1998年に設立されました。主な活動は、以下の通りです。

- ・ 毎月1回外国人無料健康相談会の実施（医師、歯科医師、看護師、通訳の協力による相談）
- ・ 医療に関する情報提供（医療機関紹介、保険制度に関する情報提供など）
電話、Eメールでの外国人からの相談に対する医療情報の提供は、ほぼ毎年30～40件。
内容：
 - ・ 保険がなく、オーバーステイ。治療費が高額になってしまった。
 - ・ 相談会の日程を教えて欲しい。
 - ・ 友人がHIVだが、どうしたらよいかわからない。
 - ・ 言葉のわかる医療機関を教えて欲しい。
 - ・ (医療機関からの依頼) 通訳を派遣してほしい。
 - ・ (保健所より) 外国人で保険未加入。日本人と同じ金額で中絶手術をしてくれる医療機関を教えてほしい。その他、領事館など、公的機関からの問い合わせもあり。
- ・ 愛知県広域災害救急医療情報システムの一部委託管理（外国人向けホームページ管理）
- ・ 広報活動（ホームページによる広報、MICA通信毎月発行、年1回ニュースレター発行）
- ・ 愛知県救急医療情報システム（NTTデータ委託事業）

インターネット、電話、FAXを活用して医療情報を提供する。

①音声認識技術の活用（利用者が話した地名・駅名を認識して、最寄の医療機関を紹介）

②5言語（英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フランス語）での対応

特定非営利活動法人 外国人医療センター（活動時間：火・木・土 13:00～17:00）

450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南1-20-11 NPO プラザなごや4F

TEL&FAX 052-588-7040 E-mail: mica@r6.dion.ne.jp http://www.h6.dion.ne.jp/~mica/

平成18年度岩倉市中学生海外派遣報告会



9月18日(月)、「マレーシア派遣報告会」がくすのきの家で開催されました。マレーシアでの体験をそれぞれの素直な感想を交え、楽しい雰囲気の中で報告会が実施されました。

異国の地でのホームステイ体験は、積極的に人と関わろうとする行動力が必要とされます。今回参加した14名の中学生は、皆そういった資質やエネルギーを持ち、心の底から仲良くなりたいたい、多くの

ことを吸収したいという気持ちをうまく表現できていたように思います。そして、マレーシアで出会った人々のおかげで、始終、笑顔を絶やすことなく元気いっぱい7日間を過ごすことができました。

特に、交流したMSKメンタカブ校では、多くのことを学ぶことができました。多民族国家であるマレーシアでは、マレー系・中国系・インド系の学生が同じ教室で学んでいます。民族・人種の違いの中で当然のように共存している姿は、我々日本人にとって学ぶべき点があるように思いました。家族を大切に、純朴で、温かな心遣いを素直に表現できる現地の学生と接していると、自然と笑顔がほころびます。そんな雰囲気の中、派遣された中学生は自分たちが外国人であるということを忘れていくかのようにのびのびと学校生活を楽しむことができました。

また、ホームステイでお世話になったケルダウ村の人々との出会いや生活は、忘れることができない体験となりました。わずかな滞在ではありましたが、何不自由のない日本での生活との違いに戸惑いを見せていた彼らもだんだんと慣れ、スパイシーなマレー料理、トイレやお風呂の不便さもたくましく乗り切っていくことができました。そして、宗教が深く生活の中に浸透している社会や、お互いを思いやる温かな家族に囲まれての生活の中、今の日本人が見失いかけている「本当の豊かさ」が彼らの胸に刻みこまれたことでしょう。

帰国の日、マレーシアの空港でひとり隠れる様に泣いている中学生の姿を見て、この7日間の大きさを改めて実感しました。

今回の派遣事業にあたり、マレーシア・ホームステイ・プログラム協会会長のサハリマン氏をはじめとする多くの関係各位に御協力いただきましたことに深く感謝いたします。(浅田 稔)



国際交流協会セミナー

マレーシア・日本 文化交流の集い in 岩倉

12月2日(土) 午後2時から4時

岩倉中学校 体育館

内容 第1部 日本 和太鼓の響きを
第2部 マレーシア 歌とダンス
マレーシアの衣装 プロモデル
によるファッションショー

入場料 無料

今年の夏、岩倉市は中学生を初めてマレーシアに派遣しました。この派遣団を受け入れてくれたのは、マレーシア・ホームステイ・プログラム協会でした。この協会は世界各国とのホームステイ交流をしています。このたび、マレーシアのプロの歌舞団を率いて一行40人が来日します。マレーシアと交流が始まったのを機会に、日本・マレーシア文化交流の会のご協力を得て、この歌舞団とプロのモデルによるファッションショーを岩倉で行なうことになりました。

日本の代表的な文化として、和太鼓の皆さんに、日本の音を披露し、盛り上げていただきます。なお、団員の皆さんのホームステイを受け入れてくださるご家庭も募集しています。

(問い合わせは11月10日 協会事務局 0587-66-7347 内藤まで)



市民体育祭参加



運動会シーズンがやってきました。例年だとC B I C (国際協力機構 中部国際センター) から6名前後の研修生がホームステイゲストとしてやってきますが、今年はC B I Cからの参加はなし。名古屋芸大から2名の女子留学生がホームステイすることになり、金英恩さん(韓国出身。5月のこいのぼりづくりにも参加)とフォーリーさん(1週間前にイギリスから来たばかり)が出野さんのお宅にステイすることになりました。

さて9月30日の夜、市民体育祭参加者交流会のお楽しみアトラクションです。3 P o C K e T S (元気な女子高校生3人組)のジャズダンス2曲、一宮マジッククラブの水野さん(く

まさん)のマジックショー(生きているハトが登場する本格的なマジック!)、インドネシア人研修生のフィルマンさんとアリさんのギターと歌(コブクロの「桜」と豊富なメニューです。

明けて10月1日は岩倉市民体育祭。いつもの場所にテントを張って陣地を確保しましたが、今にも雨が降ってきそうな天候です。プログラムを見るとパン食い競争や障害物競走のような種目がありません。一般人の参加可能な種目が減ってきているようです。

当協会からは団体種目の綱引きにエントリーしています。選手8名の内訳は男性4名、女性4名とパワー的にはやや不利(女性は最低3名いれば良い)な編成となりましたが、結果は…。予選1回戦で勝ってしまい選手一同大喜び。予選2回戦は負けてしまいました(でも2回も試合ができたからいいや)。

そうこうしている内に雨が強くなり午後の種目は大部分が中止。早めの解散となりました。

(中山 昭彦)

岩倉市国際交流協会創立15周年企画

「シャンソンとディナーの夕べ」

岩倉市国際交流協会が、市制20周年の活動をきっかけに設立してから15年。

フィリピンのピナトゥボへの訪問団の派遣やホームステイの受け入れなど、日本人には国際社会の理解を深めるとともに、外国人には日本社会の理解を深めていただけるような活動を数多く実施してきました。この度、この協会設立15周年を記念し、シャンソンとディナーの夕べを開催します。会員の方はぜひご参加いただき楽しんでいただきたいと思います。会員でない方も当日、入会していただければご参加いただけます。この機会にぜひ岩倉市国際交流協会に加入し、国際社会への理解を深めて見ませんか。

とき 12月23日(土)

ところ 岩倉市総合体育文化センター多目的ホール

出演 歌 児玉たまみ ピアノ 北川美晃

入場料 会員無料

(会員でない方は19年度会費として1,500円をお支払いいただければご参加いただけます。)

開演時間などの詳細は、協会のホームページやリアルタイムでお知らせいたします。



フィリピン・ピナトゥボ交流訪問団・人に出会う旅 PART 15

この訪問事業は、さまざまな人々や団体に協力をいただき続けられてきましたが、言われぬ差別を受ける山岳少数民族アエタスの自立のための「岩倉教育基金」や、日本の友人のためにとフィリピンの人々から送られてきた1千円をもとに多くの市民から寄せられた「阪神淡路大震災・神戸に届けボトン募金」など、訪問だけではなく、こうした活動にも大勢の方たちの支援をいただけてきました。

突然のことですが、アエタスの友人でもあり、私たちの訪問を支えていただいたボトンさん(キューガン医師)が、来年4月に家族とともにアメリカへ行くこととなりました。このため、岩倉市国際交流協会では、ひとつの区切りとなる15回目の交流訪問を以下の日程で行います。

訪問日程 平成18年11月21日(火)～26日(日)

会員継続手続き及び新規会員募集のご案内

事業は会員の会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。会員継続手続きをされていない方は、下記へお振り込みをお願いします。また新規会員も受け付けています。

新規会員の申し込みについては下記申込先、問い合わせ先にご連絡をお願いします。

申込先 岩倉市国際交流協会事務局

〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2 (内藤方) TEL/FAX (0587)66-7347

会費振込先 いちい信用金庫 愛北営業部 普通預金1016300

口座名 岩倉市国際交流協会 内藤和子

会費 家族会員 3口 (3,000円)以上

ジュニア会員 1口 (1,000円)以上

団体会員 10口 (10,000円)以上 (1口1,000円です)

問い合わせ先 内藤(0587)66-7347

中山(0587)66-8573

三浦(0586)87-1077

出野(0587)37-2495

堀尾(0568)78-6308

会報 COM第52号(2006年11月1日) 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2(内藤方)

発行 岩倉市国際交流協会

TEL・FAX 0587-66-7347

印刷 大橋印刷

http://www.iies.info/